

定期作況報告（最終）

（第7号 平成30年11月20日現在）

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

《平成29年》

11月：平均気温は0.1℃低く、降水量は平年の126%、日照時間は平年の79%であった。

12月：平均気温は0.8℃低く、降水量は平年の116%、日照時間は平年の45%であった。

《平成30年》

1月：平均気温は1.6℃高く、降水量は平年の156%、日照時間は平年の101%であった。

2月：平均気温は1.3℃低く、降水量は平年の145%、日照時間は平年の96%であった。

3月：平均気温は1.1℃高く、降水量は平年の230%、日照時間は平年の104%であった。

4月：平均気温は1.0℃高く、降水量は平年の49%、日照時間は平年の109%であった。

5月：平均気温は0.1℃高く、降水量は平年の225%、日照時間は平年の101%であった。

6月：平均気温は1.5℃低く、降水量は平年の150%、日照時間は平年の87%であった。

7月：平均気温は0.4℃低く、降水量は平年の185%、日照時間は平年の97%であった。

8月：平均気温は2.3℃低く、降水量は平年の134%、日照時間は平年の72%であった。

9月：平均気温は0.8℃低く、降水量は平年の20%、日照時間は平年の113%であった。

10月：平均気温は0.5℃高く、降水量は平年の129%、日照時間は平年の107%であった。

本年の根雪終は4月12日で平年より1日遅く、積雪期間は平年より7日長かった。耕鋤始（融雪剤散布圃場）は4月17日で平年より3日早かった。晩霜は4月28日で平年より17日も早かった（表1）。平成29年11月から平成30年10月までの気象は表2のとおりである。

以上、農耕期間の4～10月についてまとめると、平均気温は平年に比べて4月が1.0℃、5月が0.1℃、10月が0.5℃それぞれ高かったが、それ以外は0.4～2.3℃低く、8月が平年に比べて最も低かった。降水量は、5月が平年の225%と最も多く、次いで7月、6月、8月、10月がそれぞれ平年の185%、150%、134%、129%と多かった。それ以外は平年に比べて少なく、9月が平年の20%と最も少なかった。日照時間は9月が平年の113%と最も多く、次いで4月、10月、5月がそれぞれ平年の109%、107%、101%と多かった。それ以外は少なく、8月は平年の72%と最も少なかった。5月から9月までの積算値は、平年に比べ平均気温が144℃低く、降水量は平年より182mm多く、日照時間は53時間少なかった（表3）。

表1 季節表

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)	初霜 (月日)	降雪始 (月日)
本年	10月18日	10月17日	11月15日	4月12日	149	4月15日	4月17日	4月28日	10月5日	11月14日
平年	10月8日	10月23日	11月22日	4月11日	142	4月28日	4月20日	5月15日	10月8日	10月23日
比較	10	△6	△7	1	7	△13	△3	△17	△3	22

注1) 本年は平29～30年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。

平年は過去10か年の平均値。

4) △印は平年に比べて早いあるいは短いを示す。

表2 気象表

年 月 旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)				降水日数 (日)			日照時間 (hr)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)
2017 上	6.2	4.4	▲ 1.8	10.6	8.9	▲ 1.7	2.4	0.3	▲ 2.1	25.5	38.0	▲ 12.5	67	7	6	1	21.0	25.9	▲ 4.9	81
11 中	0.2	1.5	▲ 1.3	4.6	5.3	▲ 0.7	-3.8	-2.3	▲ 1.5	69.5	29.6	▲ 39.9	235	10	6	4	20.0	21.3	▲ 1.3	94
下	-2.3	-1.4	▲ 0.9	0.6	1.9	▲ 1.3	-6.6	-5.2	▲ 1.4	34.0	34.9	▲ 0.9	97	8	7	1	10.3	18.0	▲ 7.7	57
平均・合計	1.4	1.5	▲ 0.1	5.3	5.4	▲ 0.1	-2.7	-2.4	▲ 0.3	129.0	102.5	▲ 26.5	126	25	18	7	51.3	65.2	▲ 13.9	79
2018 上	-6.4	-2.7	▲ 3.7	-3.6	0.5	▲ 4.1	-11.0	-6.7	▲ 4.3	26.5	31.5	▲ 5.0	84	9	7	2	10.2	16.6	▲ 6.4	61
12 中	-4.8	-4.9	0.1	-2.1	-1.4	▲ 0.7	-9.6	-9.5	▲ 0.1	31.0	20.7	▲ 10.3	150	8	7	2	10.0	18.2	▲ 8.2	55
下	-5.0	-6.2	▲ 1.2	-1.9	-2.6	0.7	-8.6	-11.0	▲ 2.4	29.5	22.8	▲ 6.7	129	8	8	0	4.2	19.6	▲ 15.4	21
平均・合計	-5.4	-4.6	▲ 0.8	-2.5	-1.2	▲ 1.4	-9.7	-9.1	▲ 0.7	87.0	75.0	▲ 12.0	116	25	21	4	24.4	54.4	▲ 30.0	45
2019 上	-3.5	-7.1	▲ 3.6	-0.8	-3.6	▲ 2.8	-6.8	-11.9	▲ 5.1	41.5	16.9	▲ 24.6	246	8	6	2	4.2	16.2	▲ 12.0	26
1 中	-7.8	-9.5	▲ 1.7	-2.9	-5.6	▲ 2.7	-14.0	-14.6	0.6	19.5	15.4	▲ 4.1	127	3	5	▲ 2	37.2	23.2	▲ 14.0	160
下	-8.6	-8.2	▲ 0.4	-4.6	-3.9	▲ 0.7	-13.8	-13.8	0.0	12.5	14.8	▲ 2.3	84	10	6	4	28.4	29.5	▲ 1.1	96
平均・合計	-6.6	-8.3	▲ 1.6	-2.8	-4.4	▲ 1.6	-11.5	-13.4	▲ 1.9	73.5	47.1	▲ 26.4	156	21	17	4	69.8	68.9	0.9	101
2020 上	-8.5	-8.6	0.1	-3.7	-3.8	0.1	-14.8	-14.8	0.0	6.0	9.6	▲ 3.6	63	3	5	▲ 2	37.6	32.0	▲ 5.6	118
2 中	-8.2	-6.6	▲ 1.6	-4.6	-2.3	▲ 2.3	-12.5	-12.0	▲ 0.5	25.5	16.0	▲ 9.5	159	9	5	4	22.9	31.9	▲ 9.0	72
下	-8.3	-5.8	▲ 2.5	-3.2	-0.9	▲ 2.3	-13.7	-12.1	▲ 1.6	23.0	11.9	▲ 11.1	193	6	4	2	30.6	31.3	▲ 0.7	98
平均・合計	-8.3	-7.0	▲ 1.3	-3.8	-2.3	▲ 1.5	-13.7	-13.0	▲ 0.7	54.5	37.5	▲ 17.0	145	18	14	4	91.1	95.2	▲ 4.1	96
2021 上	-3.1	-4.2	▲ 1.1	1.1	0.4	0.7	-8.5	-10.0	▲ 1.5	55.0	12.8	▲ 42.2	430	6	5	1	18.3	41.6	▲ 23.3	44
3 中	-1.6	-1.8	0.2	2.5	3.0	▲ 0.5	-6.9	-7.3	0.4	32.5	17.0	▲ 15.5	191	5	5	1	37.5	44.4	▲ 6.9	84
下	1.5	-0.6	▲ 2.1	7.6	4.5	▲ 3.1	-5.9	-5.9	0.0	4.0	9.9	▲ 5.9	40	1	5	▲ 4	86.6	60.5	▲ 26.1	159
平均・合計	-1.1	-2.2	▲ 1.1	3.7	2.6	▲ 1.1	-7.1	-7.7	0.6	91.5	39.7	▲ 51.8	230	12	14	▲ 2	151.7	146.5	▲ 5.2	104
2022 上	2.1	2.4	▲ 0.3	5.9	7.5	▲ 1.6	-1.5	-3.4	▲ 1.9	10.5	19.2	▲ 8.7	55	5	5	1	34.4	58.0	▲ 23.6	59
4 中	5.7	4.3	▲ 1.4	11.6	9.8	▲ 1.8	0.2	-0.9	▲ 1.1	14.0	17.5	▲ 3.5	80	5	4	1	68.3	56.3	▲ 12.0	121
下	9.6	7.6	▲ 2.0	17.0	14.0	▲ 3.0	1.7	1.5	0.2	0.0	13.1	▲ 13.1	0	0	4	▲ 4	86.6	58.7	▲ 27.9	148
平均・合計	5.8	4.8	▲ 1.0	11.5	10.4	▲ 1.1	0.1	-0.9	▲ 1.1	24.5	49.8	▲ 25.3	49	10	12	▲ 2	189.3	173.0	▲ 16.3	109
2023 上	8.6	10.5	▲ 1.9	14.2	17.0	▲ 2.8	4.7	4.1	0.6	42.5	19.2	▲ 23.3	221	6	5	2	41.0	58.8	▲ 17.8	70
5 中	12.8	11.1	▲ 1.7	18.8	17.4	▲ 1.4	7.0	5.4	▲ 1.6	20.5	20.3	0.2	101	4	4	0	54.1	58.9	▲ 4.8	92
下	14.6	14.1	0.5	21.5	20.7	0.8	7.9	8.1	▲ 0.2	68.0	18.6	▲ 49.4	366	5	4	1	101.7	77.1	▲ 24.6	132
平均・合計	12.0	11.9	0.1	18.2	18.4	▲ 0.2	6.5	5.9	0.7	131.0	58.1	▲ 72.9	225	15	12	3	196.8	194.8	2.0	101
2024 上	16.1	15.7	0.4	22.7	22.0	0.7	10.0	10.2	▲ 0.2	22.0	18.2	▲ 3.8	121	3	4	▲ 1	76.9	58.1	▲ 18.8	132
6 中	12.8	17.0	▲ 4.2	18.2	22.5	▲ 4.3	8.1	12.5	▲ 4.4	62.0	32.6	▲ 29.4	190	2	5	▲ 3	54.5	51.4	▲ 3.1	106
下	17.4	18.1	▲ 0.7	21.3	24.2	▲ 2.9	13.8	12.7	▲ 1.1	32.0	26.7	▲ 5.3	120	5	3	2	22.4	66.9	▲ 44.5	33
平均・合計	15.4	16.9	▲ 1.5	20.7	22.9	▲ 2.2	10.6	11.8	▲ 1.2	116.0	77.5	▲ 38.5	150	10	11	▲ 1	153.8	176.4	▲ 22.6	87
2025 上	16.7	20.7	▲ 4.0	20.6	26.1	▲ 5.5	13.1	16.2	▲ 3.1	199.5	36.9	▲ 162.6	541	6	4	3	16.9	55.0	▲ 38.1	31
7 中	21.1	20.3	0.8	26.1	25.7	0.4	16.6	15.9	0.7	77.5	43.7	▲ 33.8	177	4	4	0	53.5	60.3	▲ 6.8	89
下	24.0	21.9	▲ 2.1	29.8	27.4	▲ 2.4	18.7	17.5	▲ 1.2	3.5	70.7	▲ 67.2	5	1	5	▲ 4	96.3	57.2	▲ 39.1	168
平均・合計	20.6	21.0	▲ 0.4	25.5	26.4	▲ 0.9	16.1	16.5	▲ 0.4	280.5	151.3	▲ 129.2	185	11	12	▲ 1	166.7	172.5	▲ 5.8	97
2026 上	20.1	22.4	▲ 2.3	26.8	28.2	▲ 1.4	14.1	17.7	▲ 3.6	74.0	43.2	▲ 30.8	171	3	3	0	83.1	64.0	▲ 19.1	130
8 中	18.0	21.3	▲ 3.3	21.6	26.5	▲ 4.9	15.1	17.1	▲ 2.0	90.5	85.5	▲ 5.0	106	7	6	2	13.6	46.5	▲ 32.9	29
下	18.7	19.9	▲ 1.2	23.0	25.4	▲ 2.4	15.1	15.2	▲ 0.1	65.5	42.4	▲ 23.1	154	7	5	2	25.1	58.1	▲ 33.0	43
平均・合計	18.9	21.2	▲ 2.3	23.8	26.7	▲ 2.9	14.8	16.7	▲ 1.9	230.0	171.1	▲ 58.9	134	17	14	4	121.8	168.6	▲ 46.8	72
2027 上	18.3	19.0	▲ 0.7	23.3	24.8	▲ 1.5	12.9	14.4	▲ 1.5	3.0	68.7	▲ 65.7	4	3	5	▲ 2	45.7	50.9	▲ 5.2	90
9 中	15.1	16.3	▲ 1.2	22.8	22.3	0.5	8.5	11.4	▲ 2.9	8.5	43.8	▲ 35.3	19	2	4	▲ 2	84.1	47.7	▲ 36.4	176
下	13.2	13.7	▲ 0.5	18.7	19.8	▲ 1.1	8.2	8.2	0.0	18.5	35.1	▲ 16.6	53	5	5	0	41.1	52.0	▲ 10.9	79
平均・合計	15.5	16.3	▲ 0.8	21.6	22.3	▲ 0.7	9.9	11.3	▲ 1.5	30.0	47.6	▲ 17.6	20	10	14	▲ 4	170.9	150.6	▲ 20.3	113
2028 上	11.3	11.1	0.2	17.0	16.6	0.4	6.5	6.1	0.4	77.5	37.1	▲ 40.4	209	6	6	1	37.4	42.7	▲ 5.3	88
10 中	9.0	8.7	0.3	15.0	14.3	0.7	4.0	3.7	0.3	16.5	34.0	▲ 17.5	49	5	6	▲ 1	49.4	38.4	▲ 11.0	129
下	7.3	6.3	▲ 1.0	13.2	11.5	▲ 1.7	2.8	1.6	▲ 1.2	50.0	40.9	▲ 9.1	122	7	6	1	39.7	37.6	▲ 2.1	106
平均・合計	9.2	8.7	0.5	15.1	14.1	▲ 1.0	4.4	3.8	0.6	144.0	112.0	▲ 32.0	129	18	17	1	126.5	118.7	▲ 7.8	107

注 1) 比布アメダス観測値。
 2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。
 3) ▲印は平年に比べて減を示す。

表3 農耕期間積算値 (5月～9月)

期間	項目	平均気温 (°C)	降水量 (mm)	降水日数 (日)	日照時間 (hr)
		5月上旬	本年	2,531	788
～	平年	2,675	606	64	863
9月下旬	比較	▲ 144	182	▲ 1	▲ 53

注 1) 比布アメダス観測値。
 2) 平年は過去10カ年の平均値。
 3) ▲印は平年に比べて減を示す。

2. 作 況

1) 水 稲 不 良

事由：播種は平年より2日早い4月13日に行った。育苗期間中の天候は4月中、下旬が平年より平均気温は高く、日照時間も多く経過し、出芽の揃いは良く、苗の生育も良好であった。5月上旬の平均気温は平年より低く、日照時間も少なかったが、中旬は高温に経過し苗の生育は順調に進んだ。

移植は平年並みの5月18日に行った。移植時の草丈は平年より1.4~2.5cm高く、第1葉鞘高はほぼ平年並であった。主稈葉数は平年より0.2~0.3葉多く、茎数は平年並であった。地上部乾物重は平年より1.03~1.17g重かったが、苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈は平年並であった。

移植後、5月下旬と6月上旬の平均気温は平年よりやや高く日照時間も多く経過し、活着は良好で生育も順調であったが、6月中旬の低温により生育は停滞し、葉の黄化が著しく葉先枯れも見られた。6月20日の主稈葉数と草丈はほぼ平年並であったが、 m^2 当たり茎数は平年より20%以上少なかった。6月下旬も平均気温は平年より低く、日照時間も少なく、生育は劣ったが、幼穂形成期はほぼ平年並であった。7月上旬も平均気温が平年よりかなり低く、日照時間も少なく、降水量は平年の5倍以上の極多雨となり生育は遅れ、止葉期は平年より3~4日遅れた。7月中旬の平均気温は平年より高くなったものの生育の回復は遅れた。7月20日の主稈止葉葉数は平年並から少なく、草丈は平年より4.0~5.5cm低く、 m^2 当たり茎数は平年より10~16%少なかった。

7月下旬の高温多照により生育はやや回復したものの、出穂期は平年より2~3日遅れ、穂揃い日数は平年並から1日長かった。成熟期の稈長は平年より3cm程度、穂長は1cm短く、 m^2 当たり穂数は平年より45~64本少なかった。8月下旬から9月中旬の平均気温は低く経過したが、日照時間は、9月中旬にかなり多くなったことから、登熟はほぼ平年並みに進んだ。

成熟期は平年より3~4日遅かったが、登熟日数はほぼ平年並であった。稔実歩合は平年より2.0~5.6%低かったものの、一穂粒数が平年より14~16%多く、 m^2 当たり粒数は平年より5~7%多くなり、 m^2 当たり稔実粒数は平年並からやや多くなった。登熟歩合は平年より「ななつぼし」が1.6%高く「ゆめぴりか」は4.0%低かった。

粒摺歩合は平年より1.9~2.5%高かったが、千粒重が平年より0.7~0.8g軽くなり、精玄米重は「ななつぼし」が660kg/10a、「ゆめぴりか」が613kg/10aでそれぞれ平年比95、93%で平年より少なかった。玄米の検査等級は「ななつぼし」がほぼ平年並み、「ゆめぴりか」は心白の発生により平年よりやや劣った。

これらのことから、本年の作況は「不良」である。

表4 水稻の生育

項目		品種名 /年次	ななつぼし			ゆめぴりか		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較
生育期節	播種期 (月日)		4.13	4.15	△ 2	4.13	4.15	△ 2
	移植期 (月日)		5.18	5.18	0	5.18	5.18	0
	幼穂形成期 (月日)		6.24	6.24	0	6.25	6.24	1
	止葉期 (月日)		7.14	7.11	3	7.14	7.10	4
	出穂期 (月日)		7.24	7.22	2	7.24	7.21	3
	成熟期 (月日)		9.14	9.11	3	9.14	9.10	4
	穂揃日数 (日)		10	9	1	9	9	0
	登熟日数 (日)		52	51	1	52	51	1
	生育日数 (日)		154	150	4	154	148	6
移植時	草丈 (cm)		15.7	13.2	2.5	14.5	13.1	1.4
	葉数 (枚)		4.3	4.0	0.3	4.4	4.2	0.2
	茎数 (本)		2.0	1.7	0.3	2.0	2.0	0.0
	第1葉鞘高 (cm)		2.4	2.3	0.1	2.4	2.3	0.1
	地上部乾物重 (g/100本)		5.53	4.36	1.17	5.35	4.32	1.03
	地上部乾物重/草丈		0.35	0.33	0.02	0.37	0.33	0.04
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8.0	8.3	▲ 0.3	8.6	8.6	0.0
		7月20日	10.0	10.4	▲ 0.4	10.9	10.8	0.1
		止葉葉数	10.0	10.4	▲ 0.4	10.9	10.8	0.1
	茎数 (本/m ²)	6月20日	455	578	▲ 123	528	679	▲ 151
		7月20日	649	771	▲ 122	806	900	▲ 94
	草丈 (cm)	6月20日	39.6	38.5	1.1	36.5	37.5	▲ 1.0
7月20日		75.3	80.8	▲ 5.5	75.6	79.6	▲ 4.0	
成熟期	稈長 (cm)		66.6	69.8	▲ 3.2	63.2	66.3	▲ 3.1
	穂長 (cm)		15.5	16.5	▲ 1.0	15.5	16.5	▲ 1.0
	穂数 (本/m ²)		638	702	▲ 64	775	820	▲ 45
収量構成要素	一穂粒数 (粒)		59.9	51.8	8.1	50.5	44.5	6.0
	m ² 当たり粒数 (×千)		38.2	36.4	1.8	39.1	36.4	2.7
	稔実歩合 (%)		93.5	95.5	▲ 2.0	88.0	93.6	▲ 5.6
	m ² 当たり稔実粒数 (×千)		35.7	34.8	0.9	34.4	34.0	0.4
	同上比 (%)		103	100	3	101	100	1
	登熟歩合 (%)		88.5	86.9	1.6	79.0	83.0	▲ 4.0
	籾摺歩合 (%)		82.1	80.2	1.9	80.8	78.3	2.5
	屑米歩合 (%)		1.7	2.9	▲ 1.2	1.9	3.9	▲ 2.0
収量	精玄米千粒重 (g)		21.6	22.3	▲ 0.7	22.0	22.8	▲ 0.8
	藁重 (kg/10a)		619	665	▲ 46	568	633	▲ 65
	精粒重 (kg/10a)		815	864	▲ 49	772	843	▲ 71
	精玄米重 (kg/10a)		660	692	▲ 32	613	660	▲ 47
	収量平年比 (%)		95	100	▲ 5	93	100	▲ 7
	検査等級 (等)		1	1下	-	2中	2上	-

注 1) 平年値は前7カ年の中、平成23年(最凶年)、平成29年(最豊年)を除く5カ年の平均値。

2) △は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥量：成分量でm²あたり、床土 N 3.0g, P₂O₅ 7.2g, K₂O 3.0g

置床 N 27.0g, P₂O₅ 34.0g, K₂O 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P₂O₅ 9.7kg, K₂O 6.9kg, 堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦 不良

事由：播種時期は9月25日と平年より10日遅かった。越冬前の気温は平年並に推移していたが、出芽期の遅れにより、越冬前の葉数、草丈および茎数が少なかった。根雪始は平年より7日早く11月15日、根雪終は平年より1日遅い4月12日で、積雪期間は平年より7日長い149日となった。雪腐病発病度は平年並、越冬後の草丈は平年並であったが、越冬前の茎数が少なかったことから、越冬後茎数は平年より少なかった。5月下旬から6月上旬はやや高温で推移したため、出穂期は平年より2日早い6月3日であった。出穂以降の6月中旬から7月上旬にかけて、低温が続き日照時間も少なかった。成熟期は平年より1日早い7月18日で、登熟期間は平年より1日長かった。平年と比べて稈長は低く、穂長は平年並、穂数はかなり少なく、子実重は平年比59%とかなり下回った。リットル重および容積重は平年並で、千粒重は平年を上回り、蛋白質含有率は平年並であった。検査等級は1等であった。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表5 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		きたほなみ		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	9.25	9.15	10
出芽期	(月.日)	10.05	9.24	11
出穂期	(月.日)	6.03	6.05	△ 2
成熟期	(月.日)	7.18	7.19	△ 1
越冬茎歩合	(%)	154.5	129.1	25.4
雪腐病発病度		9.4	10.0	▲ 0.6
葉数(枚)	平29年10月20日	2.0	4.4	▲ 2.4
草丈 (cm)	平29年10月20日	9.7	18.8	▲ 9.1
	平30年 5月20日	40.6	38.3	2.3
	平30年 6月20日	77.8	86.2	▲ 8.4
茎数 (本/m ²)	平29年10月20日	251	872	▲ 621
	平30年 5月20日	667	1474	▲ 807
	平30年 6月20日	429	712	▲ 283
成熟期	稈長 (cm)	68	77	▲ 9
	穂長 (cm)	8.3	8.6	▲ 0.3
	穂数(本/m ²)	386	658	▲ 272
子実重	(kg/10a)	402	681	▲ 279
同上	平年比 (%)	59	100	▲ 41
リットル重	(g)	808	811	▲ 3
容積重	(g/L)	824	833	▲ 9
千粒重	(g)	41.6	39.5	2.1
蛋白質含有率	(%)	8.7	9.2	▲ 0.5
検査等級	(等)	1	2上	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成27年(最豊年)、29年(最凶年、収穫年度)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) 平成30年度より、容積重及び蛋白質含有率を調査項目として追加しリットル重の調査を平成30年度で終了とする。

3) 春まき小麦 不良

事由：融雪は平年より1日遅く、播種は平年並の4月19日に行った。4月下旬の気温が高かったことから出芽期は平年より2日早かったが、草丈および茎数ともほぼ平年並で推移した。その後6月中旬の低温の影響を受け6月20日の草丈は平年より低く、出穂期は3日遅かった。稈長、穂長、穂数とも平年並だったが成熟期は3日遅かった。6月下旬～7月上旬の日照時間がかなり少なかったことから不稔が発生し、また7月上中旬の倒伏の影響を受け千粒重が平年よりかなり小さかったことから子実重は平年比61%であった。リットル重および容積重はほぼ平年並で、蛋白質含有率は平年をやや上回った。検査等級は平年をやや上回る1等であった。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表6 春まき小麦の生育および収量

品 種 名 項 目 \ 年次		春よ恋		
		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	4.19	4.19	0
出芽期	(月.日)	5.01	5.03	△ 2
出穂期	(月.日)	6.21	6.18	3
成熟期	(月.日)	8.02	7.30	3
草丈 (cm)	5月20日	20.1	20.7	▲ 0.6
	6月20日	73.4	81.1	▲ 7.7
茎数 (本/m ²)	5月20日	672	674	▲ 2
	6月20日	773	747	26
成 熟 期	稈長 (cm)	98	93	5
	穂長 (cm)	8.7	8.7	0.0
	穂数 (本/m ²)	561	520	41
子実重	(kg/10a)	337	553	▲ 216
同上	平年比 (%)	61	100	▲ 39
リットル重	(g)	797	800	▲ 3
容積重	(g/L)	813	823	▲ 10
千粒重	(g)	35.3	40.7	▲ 5.4
蛋白質含有率	(%)	12.7	12.2	0.5
検査等級	(等)	1	2上	-

注1) 平年値は前7か年中、平成23年（最凶年）、平成24年（最豊年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 平成30年度より、容積重及び蛋白質含有率を調査項目として追加し、リットル重の調査を平成30年度で終了する。

4) 大豆 不良

事由：播種は、平年より2日早い5月18日に行った。播種後の5月下旬は降水量がやや多く、やや高温で推移した。出芽期は平年より6日早かった。出芽後の6月上旬はやや高温で推移したが、6月中旬から7月上旬にかけて、低温が続き日照時間も少なかった。開花期は平年より3日遅くなった。成熟期は9月19日と平年より5日早かった。主茎節数および分枝数は平年並であるが、主茎長は平年より10.5cm短く、生育量は少なかった。着莢数は平年をやや下回り、百粒重は平年より3.0g軽い32.1gであった。屑粒率は平年を下回り、検査等級は平年をやや上回る2上であったが、子実重は379kg/10aと平年比87%で下回った。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表7 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.18	5.20	△ 2
出芽期	(月.日)	5.29	6.04	△ 6
開花期	(月.日)	7.17	7.14	3
成熟期	(月.日)	9.19	9.24	△ 5
主茎長 (cm)	6月20日	14.6	10.4	4.2
	7月20日	53.6	59.7	▲ 6.1
	8月20日	62.5	67.5	▲ 5.0
	9月20日	58.9	69.4	▲ 10.5
	成熟期	58.9	70.1	▲ 11.2
主茎 節数 (節)	6月20日	3.4	3.6	▲ 0.2
	7月20日	9.0	10.1	▲ 1.1
	8月20日	11.0	10.4	0.6
	9月20日	10.6	10.5	0.1
	成熟期	10.6	10.6	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	4.3	7.0	▲ 2.7
	8月20日	7.1	7.3	▲ 0.2
	9月20日	6.7	6.6	0.1
	成熟期	6.7	6.4	0.3
着莢数 (個/株)	8月20日	80	98	▲ 18
	9月20日	73	80	▲ 7
	成熟期	73	80	▲ 7
子実重	(kg/10a)	379	436	▲ 57
同上	平年比 (%)	87	100	▲ 13
百粒重	(g)	32.1	35.1	▲ 3.0
屑粒率	(%)	0.4	3.1	▲ 2.7
検査等級	(等)	2上	2中	-

注1) 平年値は前7か年中、平成25年（最凶年）、26年（最豊年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

5) 小豆 平年並

事由：播種は平年並の5月24日に行った。その後の降雨により土壌水分が十分であったことから出芽は平年より4日早く、出芽揃も良好であった。6月中旬～7月上旬の低温で生育は緩慢となり、開花期は平年より1日遅い程度だったが、主茎長、主茎節数、分枝数、着莢数とも平年を下回った。8月中旬～9月上旬も低温で推移したことから成熟期は平年より14日遅かったが、成熟期間がかなり長かったことから百粒重が平年よりかなり重く、子実重は平年並であった。屑粒率は平年よりやや高く、検査等級は平年をやや下回る3中であった。

したがって、本年の作況は「平年並」である。

表8 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.24	5.24	0
出芽期 (月.日)		6.06	6.10	△ 4
開花期 (月.日)		7.25	7.24	1
成熟期 (月.日)		9.24	9.10	14
主茎長 (cm)	6月20日	3.7	4.2	▲ 0.5
	7月20日	19.5	30.0	▲ 10.5
	8月20日	41.5	71.3	▲ 29.8
	成熟期	46.1	75.0	▲ 28.9
本葉数 (枚)	6月20日	0.7	1.2	▲ 0.5
	7月20日	6.3	9.0	▲ 2.7
	8月20日	13.0	12.3	0.7
主茎節数 (節)	成熟期	13.5	15.0	▲ 1.5
分枝数 (本/株)	7月20日	3.3	5.5	▲ 2.2
	8月20日	3.5	5.8	▲ 2.3
	成熟期	4.0	5.7	▲ 1.7
着莢数 (個/株)	8月20日	40.0	59.0	▲ 19
	成熟期	40.9	61.4	▲ 21
子実重 (kg/10a)		375	364	11
同上平年比 (%)		103	100	3
百粒重 (g)		16.1	12.8	3.3
屑粒率 (%)		6.5	2.7	3.8
検査等級 (等)		3中	3上	-

注1) 平年値は前7か年中、平成25年（最凶年）、平成29年（最豊年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

6) ばれいしょ 不良

事由：植付けは平年より1日遅い5月9日に行い、萌芽期は平年より1日遅かった。6月中下旬の気温が低かったことから茎長はやや低く推移し、開花期は平年より4日遅かった。その後、7月上旬の多雨による滞水でのストレスと7月下旬の高温・乾燥により枯ちょうの進展が早く、枯ちょう期は平年より11日早かった。でん粉価は平年を上回ったが、塊茎肥大期間が確保できず、また7月下旬の高温・乾燥により上いもの平均重が軽かったため、上いも収量、中以上いも収量、規格内収量はそれぞれ平年比85%、77%、81%と低収であった。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表9 ばれいしょの生育および収量

品 種 名 項 目 \ 年次		男爵薯		
		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.09	5.08	1
萌芽期 (月.日)		5.29	5.28	1
開花始 (月.日)		6.27	6.23	4
枯凋期 (月.日)		8.18	8.29	△ 11
茎長 (cm)	6月20日	26.6	34.9	▲ 8.3
	7月20日	42.3	50.5	▲ 8.2
上いも数 (個/株)	7月20日	9.3	9.6	▲ 0.3
	8月20日	11.6	10.8	0.8
上いもの 平均重(g)	7月20日	62	77	▲ 15
	8月20日	78	102	▲ 24
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	2578	3200	▲ 622
	8月20日	4036	4864	▲ 828
でん粉価 (%)	7月20日	13.1	14.2	▲ 1.1
	8月20日	16.0	15.0	1.0
収 穫 期	上いも数 (個/株)	11.6	10.4	1.2
	上いもの平均重 (g)	78	104	▲ 26
	上いも収量 (kg/10a)	4036	4774	▲ 738
	同上平年比 (%)	85	100	▲ 15
	中以上いも収量 (kg/10a)	3291	4264	▲ 973
	同上平年比 (%)	77	100	▲ 23
	規格内いも収量 (kg/10a)	3291	4077	▲ 786
	同上平年比 (%)	81	100	▲ 19
	でん粉価 (%)	16.0	14.6	1.4

注1) 平年値は前7か年中、平成23年（最凶年）、平成28年（最豊年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。